

令和3年度 第2回上越市立図書館協議会 次 第

日時：令和3年11月25日（木）

午後1時30分～

会場：直江津学びの交流館 イベントホール

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 報告事項

① 読書週間事業の実施結果について

② 図書館条例施行規則の一部改正について

③ 特別図書整理期間（蔵書点検）の日程変更について

(2) 協議事項

- ・ 図書館の利用促進方策について

(3) その他

4 そ の 他

5 閉 会

令和3年度 読書週間事業について（実績報告）

◆ 読書週間事業

10月27日㊦～11月9日㊧

- ・「読書週間推薦こどもの本ブックリスト2021」の作成及び掲載本の展示。（高田・直江津・浦川原・頸城）

<事業の成果>

- ・高田図書館では「あの人が読んだ本」において用意した冊数の約半数の貸出があった。
- ・直江津図書館では「50の推し本コーナー」に幅広い分野の本が並び、貸出に繋げることができた。
- ・混雑が少ないと予測し、分館でのみ「リサイクルブック市」を実施したが、頸城においては同施設でイベントが開催されていたこともあり、大勢の利用があった。

<工夫した点>

- ・高田図書館では密集にならないようにしながら読書や本の世界への働きかけになる内容で行った。
- ・直江津図書館の「50の推し本コーナー」は常時50冊の本を全て表紙を見せて並び、利用者が手に取りやすくなるよう工夫して行った。
- ・分館では、密集にならないような配置や消毒に努め実施した。
- ・令和元年度から実施している「おはなしランチ」について、小・中学校、保育園は高田図書館選定、幼稚園は高田幼稚園選定の図書に対し、担当栄養教諭・栄養士から特別に献立を考案してもらい実施。実施については私立保育園・幼稚園にも情報提供を行った。

【高田】 [2事業]

期日	名称	内容	実績
10/27㊦ ～11/9㊧	あの人の読んだ本	・高田図書館所蔵雑誌に掲載された著名人が読んだ本の紹介記事から、高田図書館で所蔵している本を展示・貸出した。	延べ70人
10月～ 11月	おはなしランチ	<p>・図書館で選定した絵本やおはなしにちなんだ料理を上越市立小学校・中学校・保育園・幼稚園の給食献立に取り入れるとともに、各校・園では「おはなしランチ」対応図書の紹介や読み聞かせ・朗読を行った。図書館では、「おはなしランチ」対応図書の展示・貸出や読み聞かせを行った。</p> <p>&lt;おはなしランチ&gt; 【小・中学校】11月 【保育園】10月（前期・後期に分け実施） 【幼稚園】11/5（金）、22（月）、26（金） &lt;図書館（全館）&gt; ・展示・貸出 10月～11月 ・対応図書の読み聞かせ 10月～11月の土曜日（全5回）</p>	<p>・市立小学校 48校 ・市立中学校 22校 ・市立保育園 38園 ・市立幼稚園 1園 その他の実施校・園 ・上越教育大学附属中学校 ・名立たちばな保育園 ・和同保育園 ・くろだ保育園</p>

【直江津】 [2事業・14人]

期日	名称	内容	実績
10/22㊦ ～11/16㊧	50の推し本コーナー	2階、3階において利用者と職員のおすすめ本を常時50冊並べられる特設コーナーを設けて貸し出した。	不明
11/6㊦	おはなしとことこのおはなしたいむ	大きな紙芝居や絵本の読み聞かせ 出演：おはなしとことこ	14人 子供6人/大人8人

【浦川原】 [2事業・56人]

期日	名称	内容	実績
10/30㊦	リサイクルブック市	図書館や家庭で不要になった雑誌や本を用意し、冊数制限をせず自由に持ち帰ってもらった。	28人 子供9人/大人19人 持ち帰り冊数：171冊
10/30㊦	しおりづくり	台紙に細かく切ったお花紙で自由に配色してもらい、ラミネートで加工したしおりを作成した。	28人 子供13人/大人15人

【頸城】 [2事業・285人]

期日	名称	内容	実績
10/30㊦、 31㊦	リサイクルブック市	除籍した本や雑誌、利用者の方から寄贈された本や雑誌を展示して、希望者に無料で提供した	255人 子供54人/大人201人 持ち帰り：556冊
11/6㊦	図書カードケースをつくらう	カードをケースにいれたままバーコードが読込める図書貸出カードケースを作った。	30人 子供10人/大人20人

## 図書館条例施行規則の一部改正について

(視聴覚資料の貸出方法等の変更)

## 1 変更内容

区分	変更前	変更後（下線部分）
a. 保管場所	直江津図書館	直江津図書館（変更なし）
b. 貸出・返却窓口		
DVD* <sup>1</sup>	直江津図書館	直江津図書館（変更なし）
CD	直江津図書館	直江津図書館 <u>高田図書館、高田図書館浦川原分館、高田図書館頸城分館</u>
c. 貸出期間* <sup>2</sup>	<u>1週間</u>	<u>2週間</u>

\*<sup>1</sup>：「DVD」は、著作権法の関係から、直江津図書館でのみ取り扱いが認められている。

\*<sup>2</sup>：貸出期間の変更は、図書館条例施行規則の一部改正を要する。

※公民館図書室は管理運営上の課題があり、貸出・返却窓口の追加対象とはしない。

## 2 変更予定期日

令和4年2月1日

（2月1日から3日までは直江津が休館となるため、実際の運用は2月4日から）

\*貸出期間及び貸出・返却窓口を変更するには、図書館システムのプログラムの改修が必要となるため、次期図書館システムの稼働日である同日に合わせるもの。

## 3 変更に伴い考えられる影響

貸出期間の延長及び受取窓口の変更に伴い、利用者の利便性が向上することにより、近年減少傾向にある視聴覚資料の利用に一定の歯止め効果が期待できる。一方で、貸出期間を長くすることで資料の回転性が少し悪くなる可能性があるものの、視聴覚資料の利用者は全体の2～3%程度にとどまっており、利用者に大きな影響を及ぼす恐れはないものと見込まれる。

## 4 参 考

- ・ 視聴覚資料貸出状況

年度／区分	貸出者数	貸出点数	所蔵点数* <sup>3</sup>
平成30年度	6,227人	10,244点	4,284点
令和元年度	5,347人	8,697点	4,293点
令和2年度* <sup>4</sup>	3,548人	6,167点	4,309点

\*<sup>3</sup>：視聴覚資料は令和元年度以降新規購入はしておらず、寄贈・付録の受け入れのみ。

\*<sup>4</sup>：令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と大雪による臨時休館の影響もあり、貸出者数及び貸出点数とも例年より大きく減少した。

## 5 その他

今回の変更は、規則の一部改正を除けば図書館システムの更新に合わせてプログラムを更新するのみであり、直江津から高田や各分館への配送など、貸出と返却に要する手間は増えるものの、新たな経費は発生しない。また、利用に当たっての新たな手続きは必要ない。

## 特別図書整理期間（蔵書点検）の日程変更について

### 1 変更内容

図書館システムの更新に伴う臨時休館を新たに設定するほか、臨時休館に伴い、特別図書整理（蔵書点検）期間を変更する。

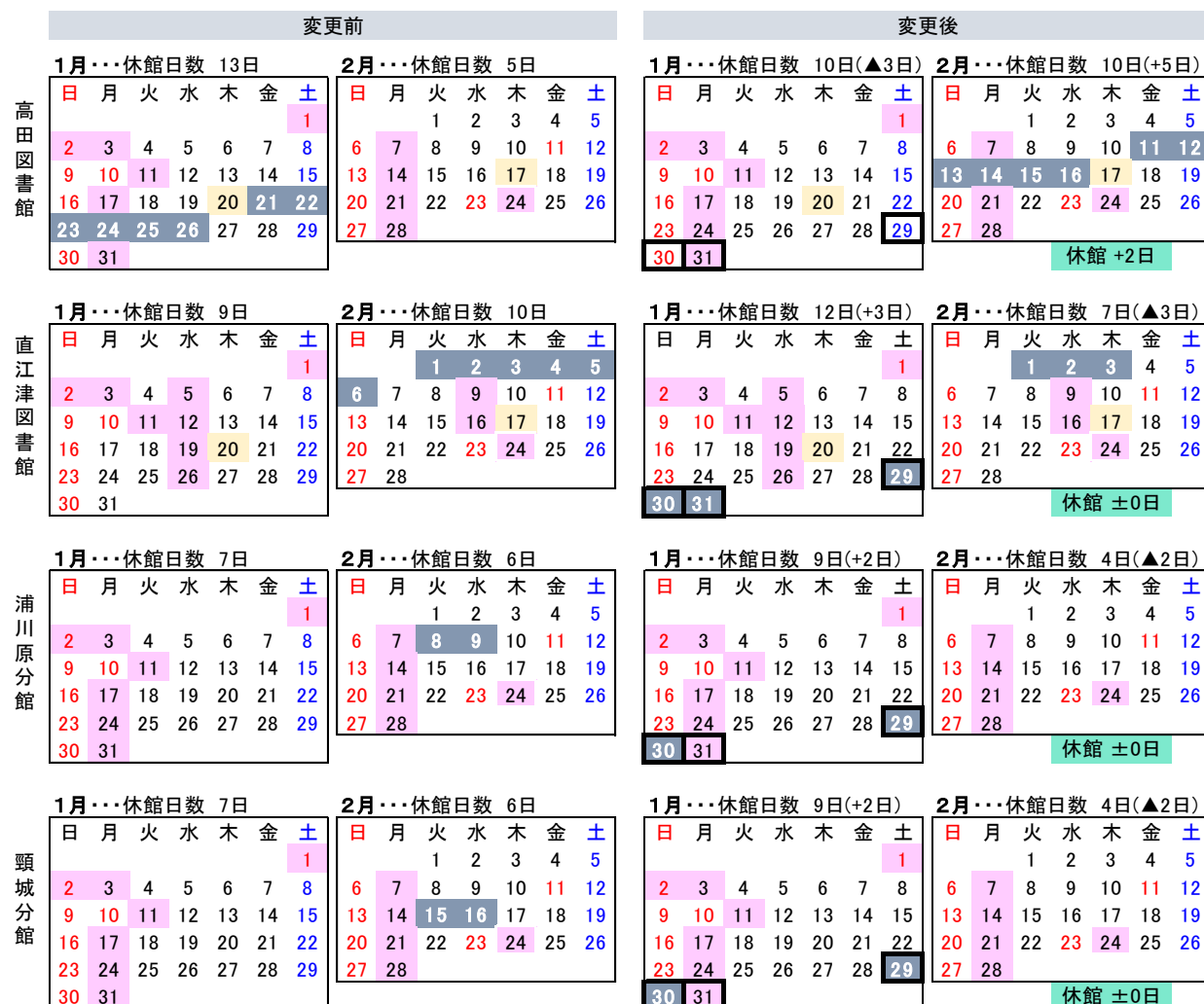
### 2 変更理由

現行の図書館システムのリース期限が満了することに伴い、1月29日から31日の間にシステムを停止・更新するため、全館を臨時的に休館する必要が生じた。

一方で、すでに図書館ごとに設定している「特別図書整理期間」とシステムの更新の期間が隣接することから、なるべく休館日数を少なくし、利用者の利便性を確保するという観点から、システムの更新に伴う臨時休館に合わせ、特別図書整理に伴う休館の期間を変更するもの。

区分	特別図書整理期間		システム更新に伴う臨時休館
	変更前	変更後	
高田図書館	R4. 1. 21~26	R4. 2. 11~16(後ろ倒し)	R4. 1. 29~31
直江津図書館	R4. 2. 1~6	R4. 1. 29~2. 3(前倒し)	R4. 1. 29~31
浦川原分館	R4. 2. 8~9	R4. 1. 29~30(前倒し)	R4. 1. 29~31
頸城分館	R4. 2. 15~16	R4. 1. 29~30(前倒し)	R4. 1. 29~31

   通常の休館日         館内整理に伴う休館日(高田・直江津のみ)  
   特別図書整理に伴う休館日         システム更新に伴う休館日(全図書館)



## 図書館の利用促進方策について

### 1 図書館の利用実態（資料4-1）

（平成29年2月の図書館システムネットワーク化後）

#### (1) 利用者登録（資料4-1①～②）

##### ①年代別登録率

多くの年代で20%を超え、中でも中学生から大学生等の年代までの伸びが著しく、令和3年3月末現在では、平成29年3月末と比べいずれも10ポイント以上向上している。

##### ②地区別登録率

図書館が立地する合併前上越市・浦川原区及び頸城区は、いずれも15%以上の登録率であり、他よりも高い傾向にある。一方で、10%を下回る地区もある。

#### (2) 利用の傾向（資料4-1③～⑧）

高田	コロナ禍と大雪により臨時休館した令和2年度は、いずれの時間帯も利用者が減少した。年代別では、午前中は60代以上が、夕方以降は40代を中心とする年代が主たる利用者となっている。地区別では、妙高市と頸南地区、頸北地区の利用が多くなっている。
直江津	コロナ禍と大雪により臨時休館した令和2年度は、夕方の時間帯の利用が減少した。年代別では、傾向は概ね高田と同様であったが、40代の利用が最も多かった。地区別では、頸北地区を中心に市内全域からの利用があった。
浦川原	コロナ禍と大雪により臨時休館した令和2年度は、夕方を中心に利用が減少し、1日当たりでは約10人の利用にとどまった。年代別では、人口の関係もあり若年層の利用が少なく、地区別では、大浦安地区を中心に頸北地区や合併前上越市からの利用もあった。
頸城	コロナ禍と大雪により臨時休館した令和2年度は、午前と夕方の時間帯の利用が減少し、1日当たりでは約20人の利用にとどまった。年代別では、浦川原と同様に若年層の利用が少なく、地区別では、頸北地区のほか直江津地区からと思われる利用が1,000人程度あった。
その他の事項	令和2年度のコロナ禍と大雪による影響について、高田図書館では臨時休館で利用が減少する中、未就学児や70歳以上の年代は臨時休館があったにもかかわらず減少はなく、概ね例年並みの利用であった。一方で、小学生や40代は、夕方の時間帯を中心に数百人程度減少しており、年代による違いが見られた。また、図書館資料の貸出のうち、全館平均で約4割、特に頸城分館では児童書の貸出が5割近くを占めており、少子化が進む世の中であるが、児童書の需要は高い傾向が続いている。

### 2 連携等の現状（資料4-2）

市立図書館は、単に図書資料を貸し出すだけでなく、おはなし会や工作教室などの参加者体験型の催しの企画・実施のほか、学校や公民館図書室、福祉施設、市民団体などを対象とした図書の貸し出し、さらには調査・研究や職場実習の場としての利用、学校でのブックトークにも出かけるなど、予算と人員体制には限りがあるものの、幅広い連携と支えあい、つながりの中で、図書館としての役割を果たし続けている。

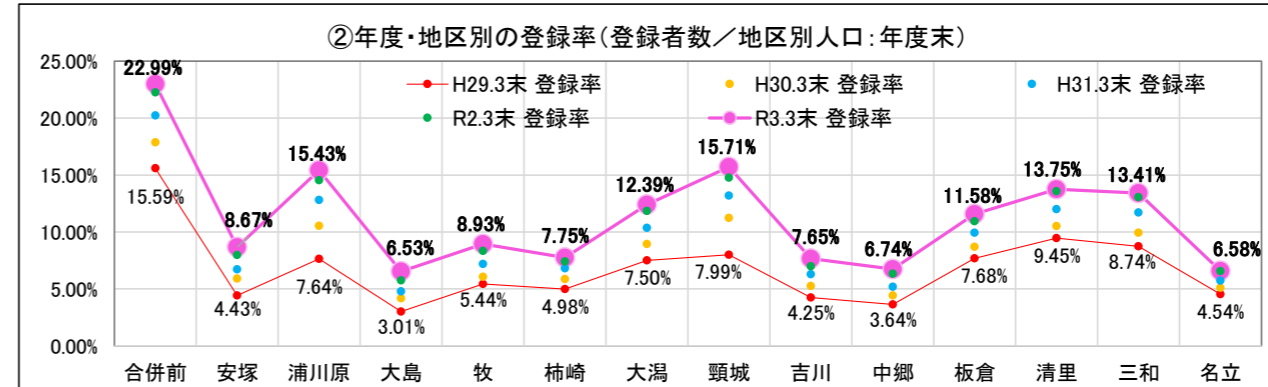
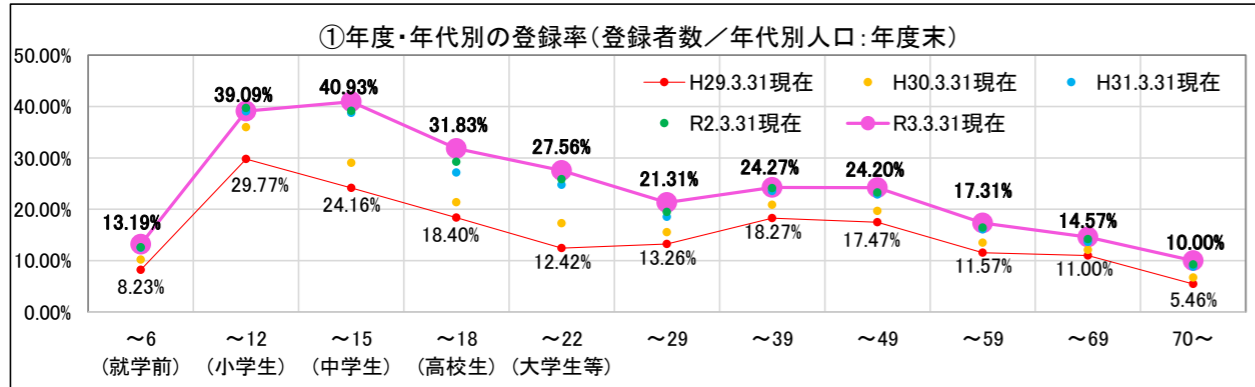
### 3 図書館の現状からみた今後検討すべき課題（案）

- (1) 少子・高齢化の進展に伴う今後の図書資料の購入方針の方向性
- (2) 今後の利用促進の方向性（特に分館の利用促進）
- (3) 市内大学との連携強化

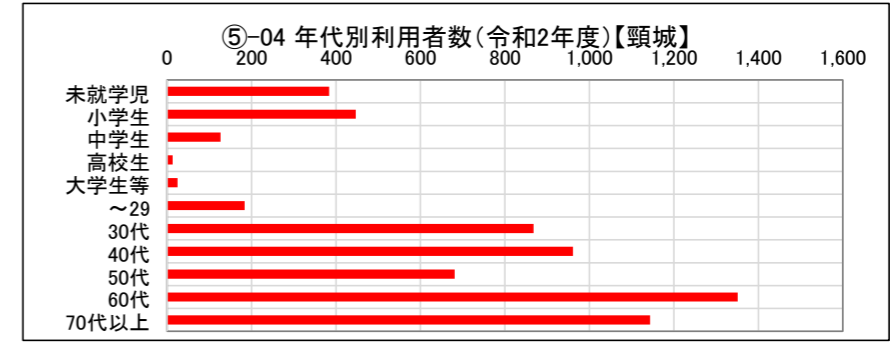
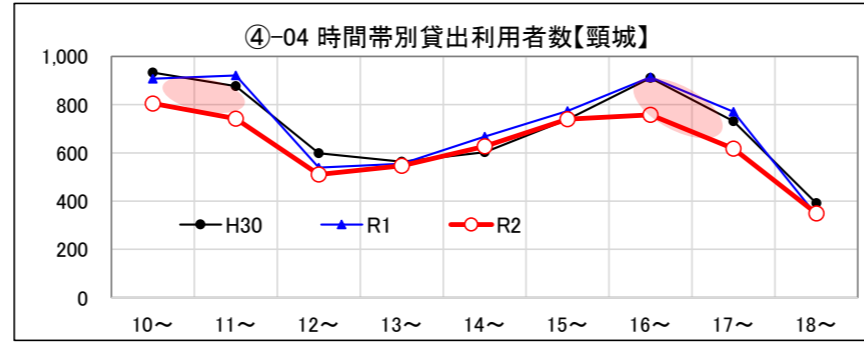
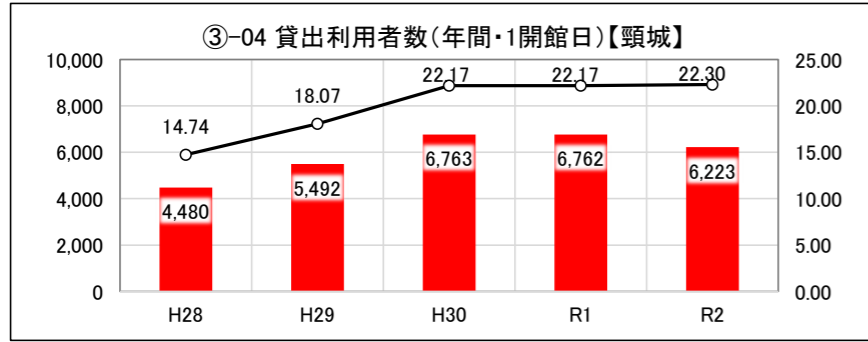
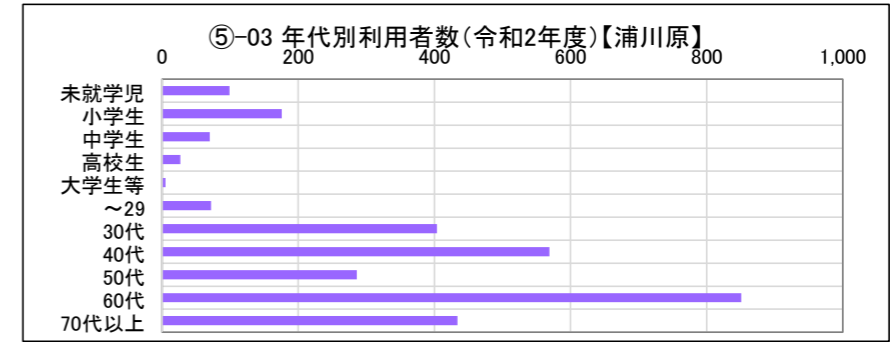
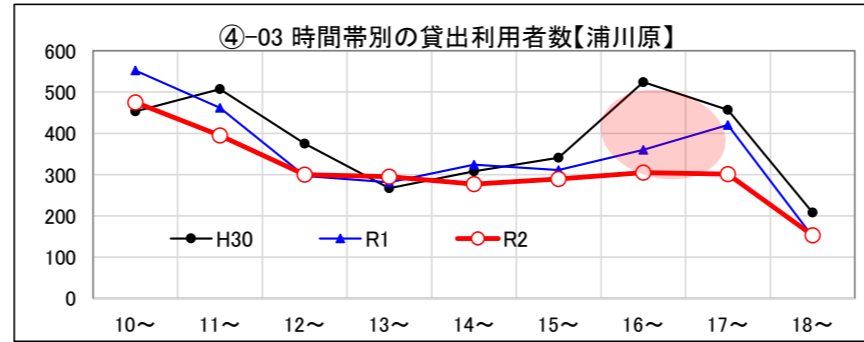
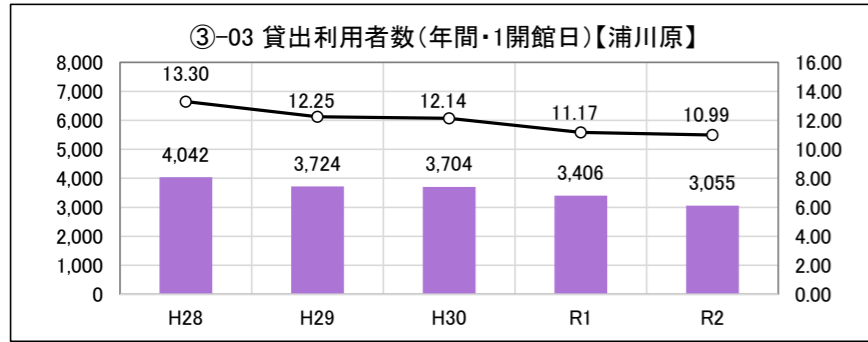
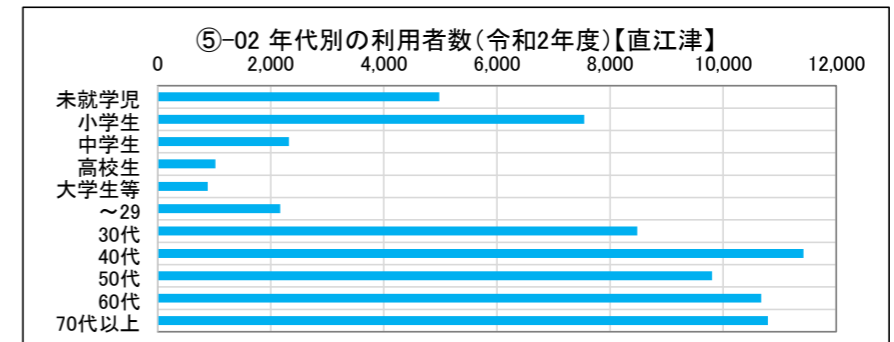
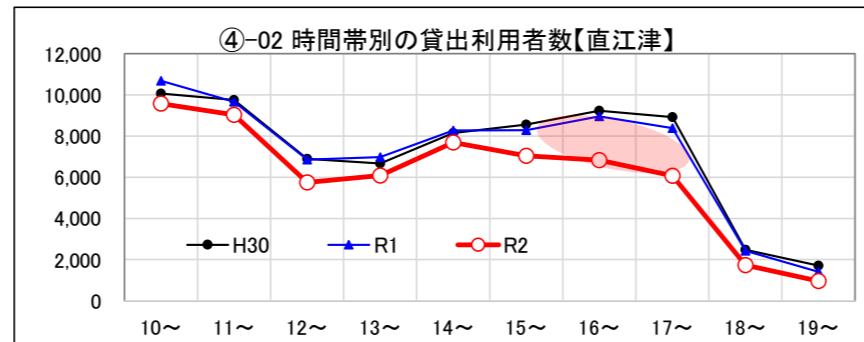
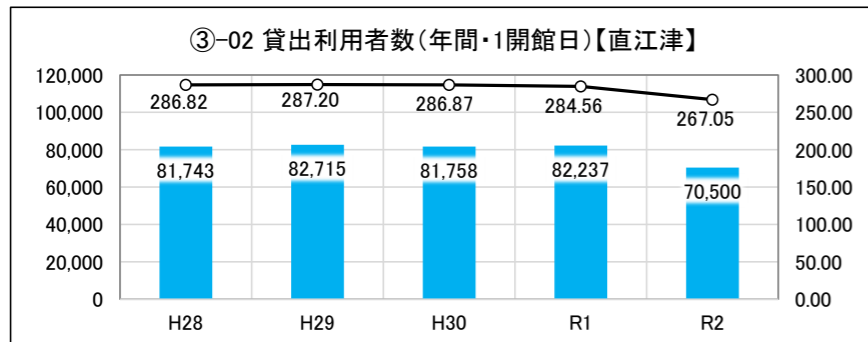
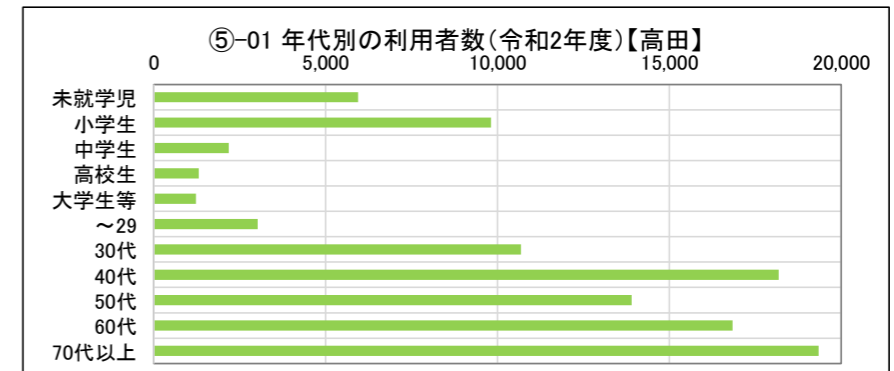
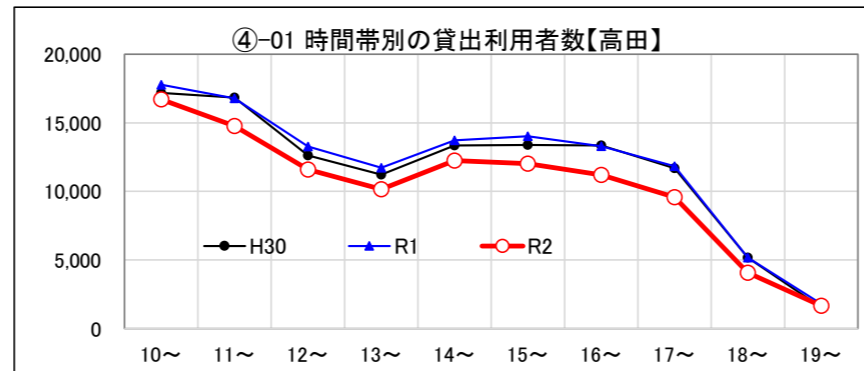
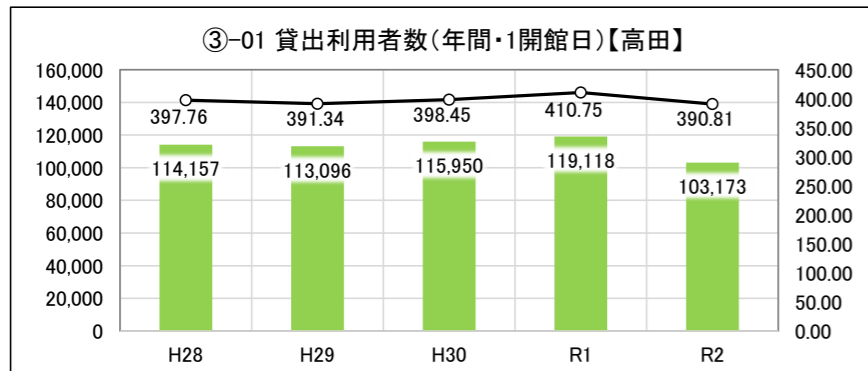
### 4 課題への対応

図書館の利用促進方策について（利用実態）

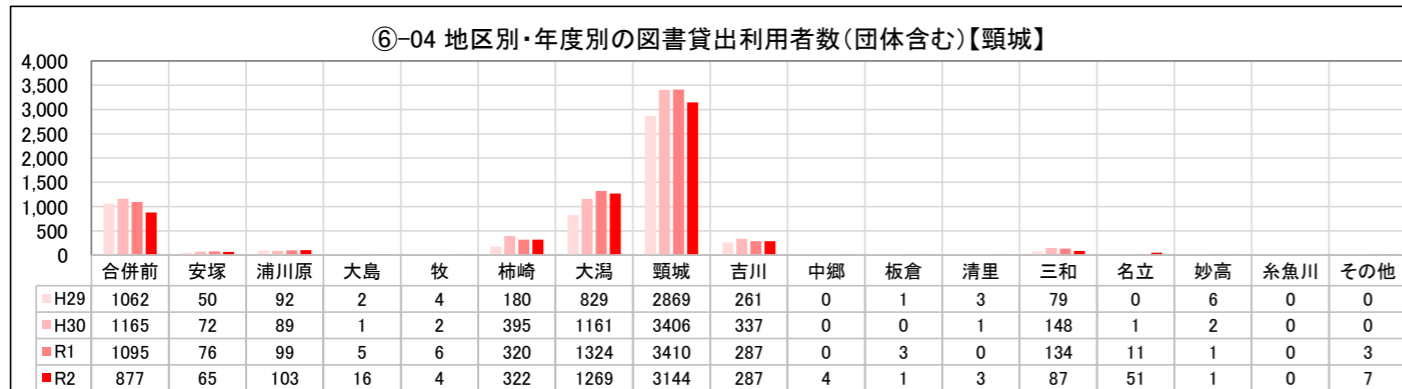
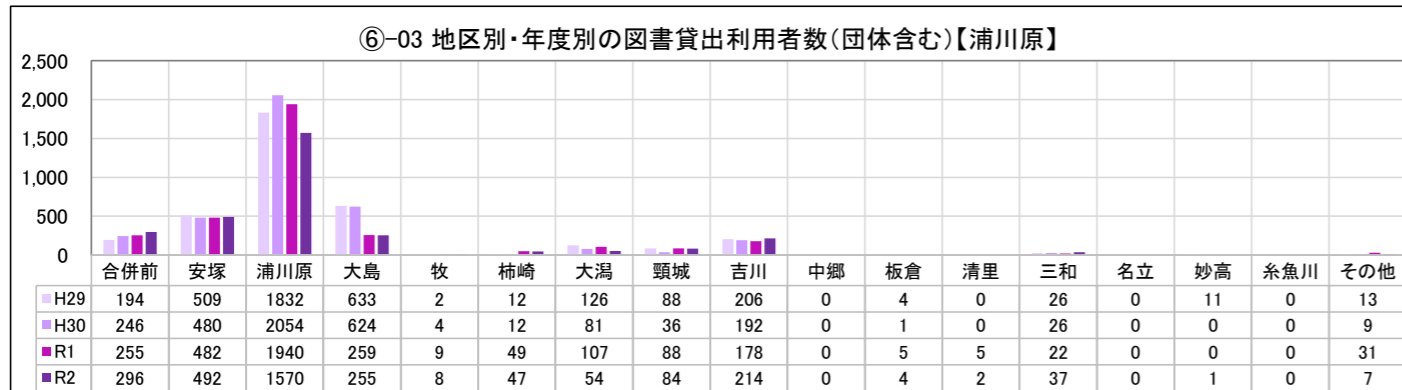
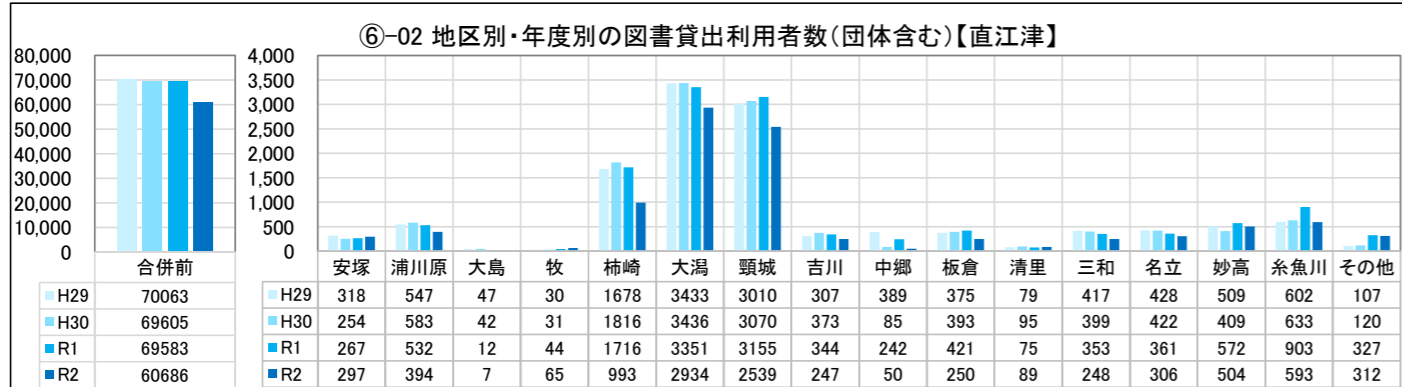
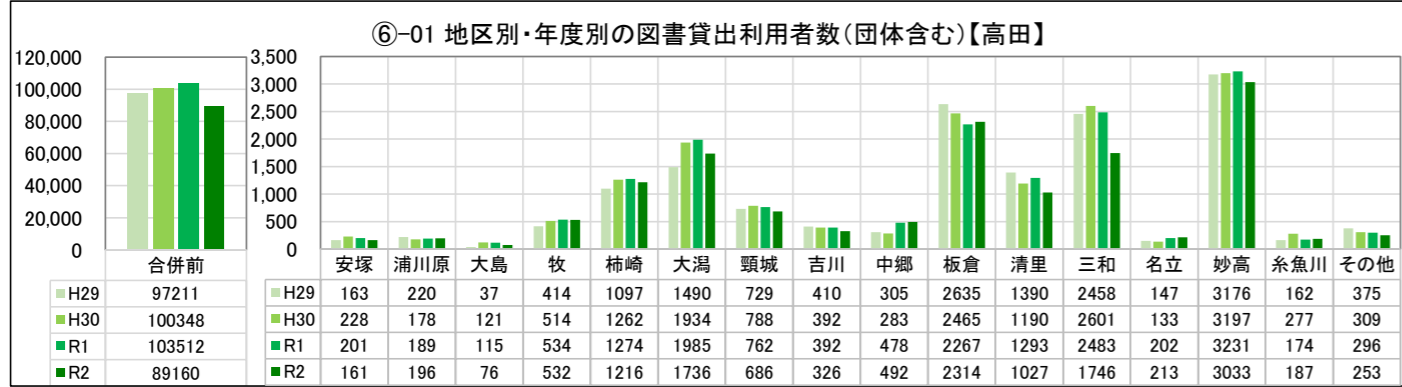
■ 利用者登録（年代別・地区別）（図書館システムのデータに基づいて作成したものであり統計に基づいたものではない）



■ 利用実態の分析（年間・1開館日当たり、時間帯別、年代別）（貸出利用者数を除き、図書館システムのデータに基づいて作成したものであり統計に基づいたものではない）



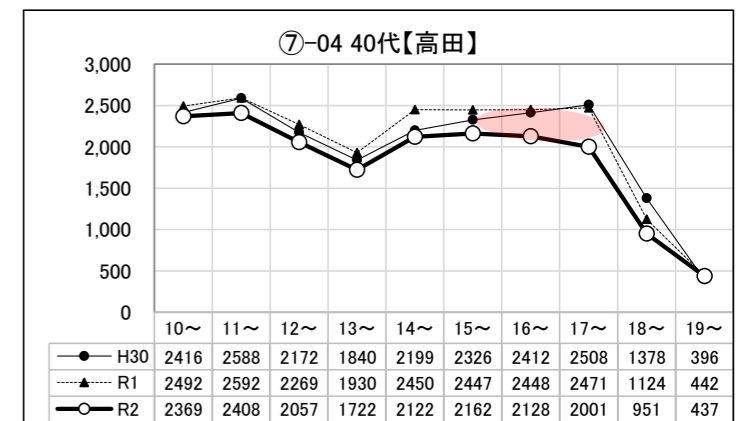
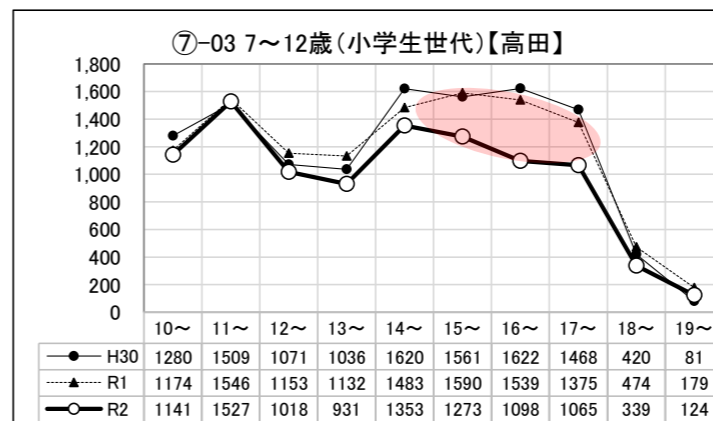
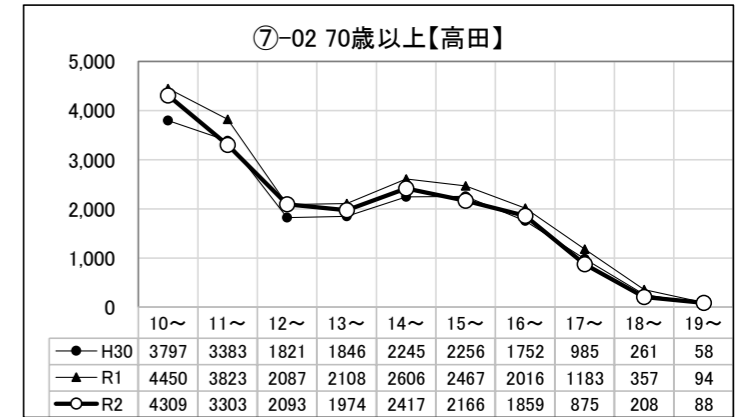
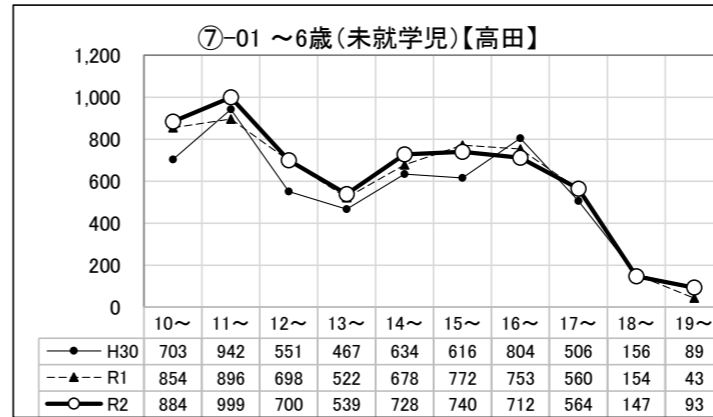
■ 利用実態の分析（地区別）（図書館システムのデータに基づいて作成したものであり統計に基づいたものではない）



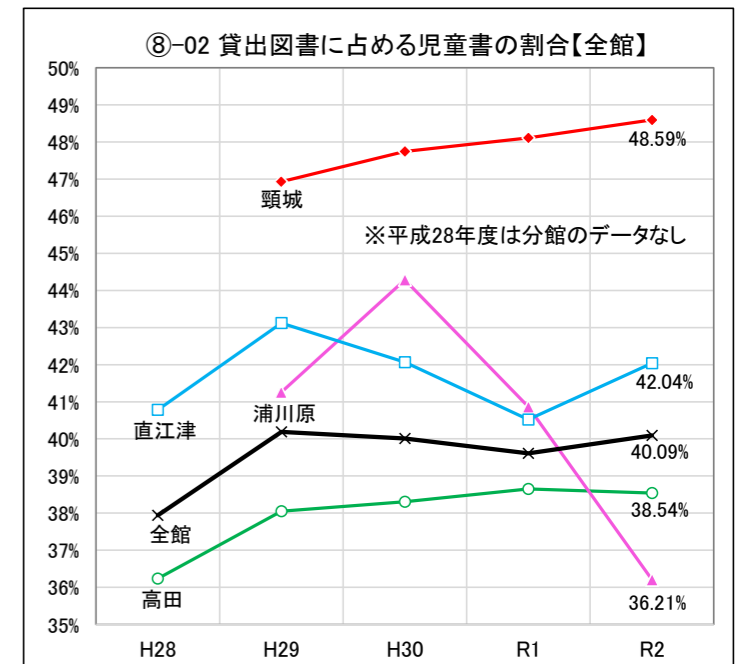
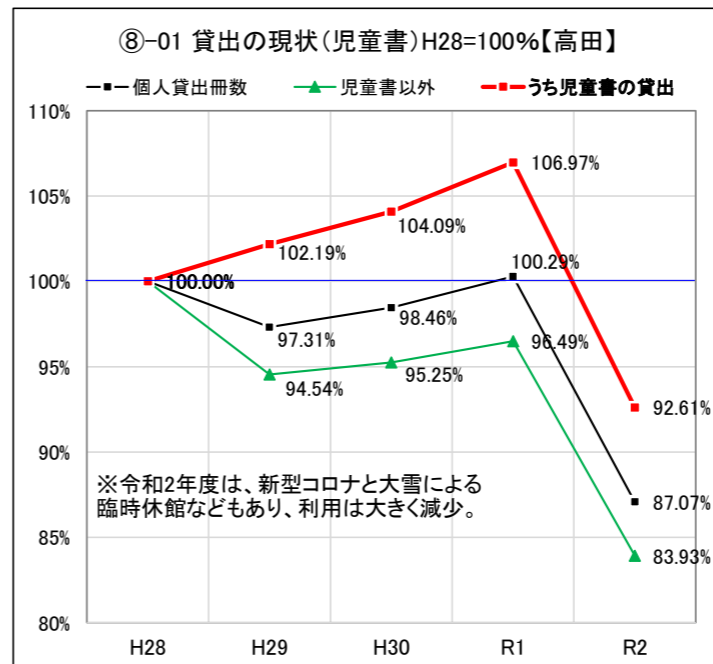
■ 利用実態の分析（年代ごとの違いなど）

（図書館システムのデータに基づいて作成したものであり統計に基づいたものではない）

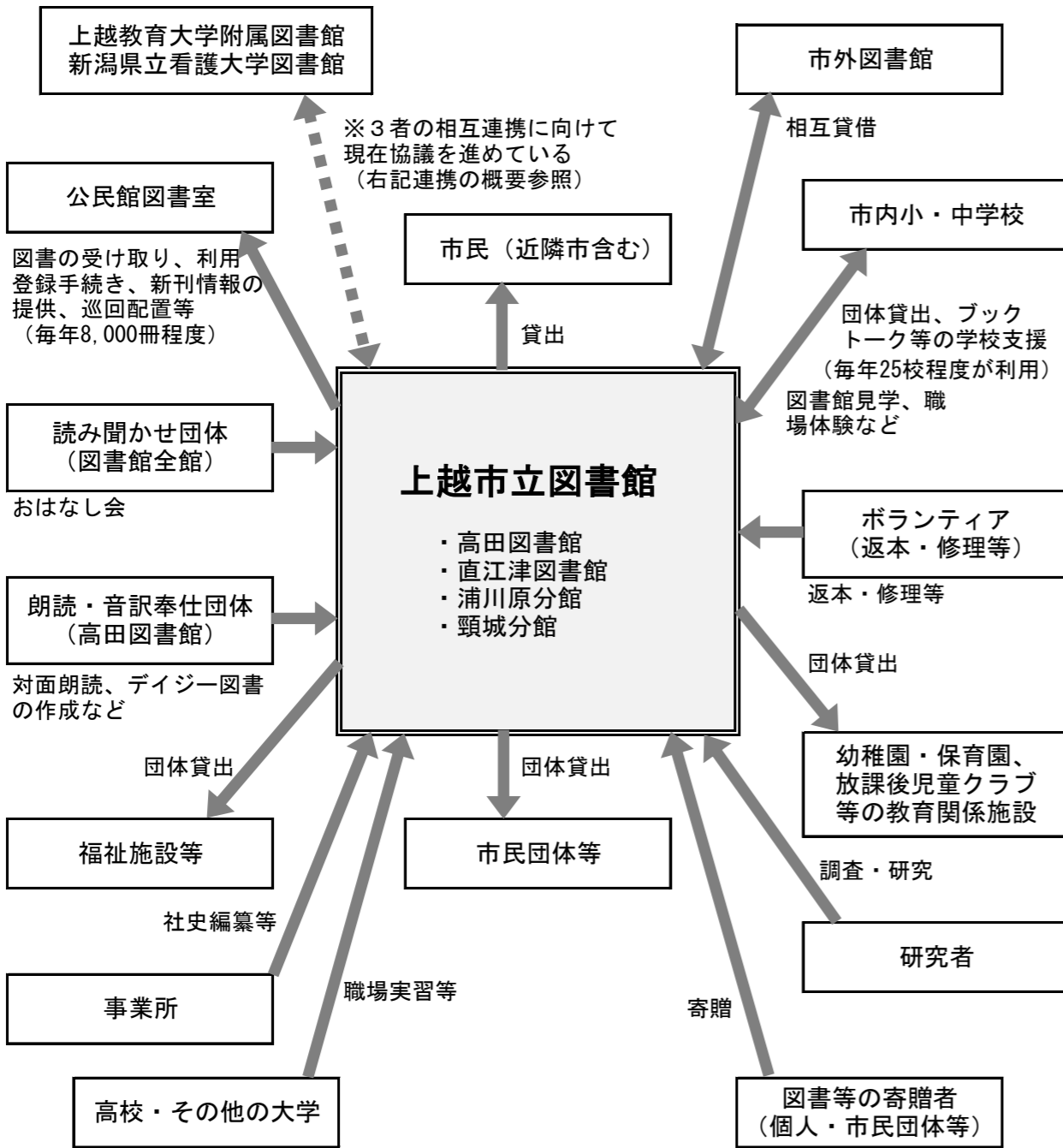
○時間帯・年代別の利用に関する違い（コロナ禍前後の比較）



○図書貸出における児童書の現状



図書館の利用促進方策について（連携等の現状）



市内大学図書館と市立図書館の3者連携について（概要）

1 3者連携の目的

上越教育大学附属図書館及び新潟県立看護大学図書館と、上越市立図書館の3者が、取組を連携して行うことにより、各図書館が所蔵する資料の有効活用と利用促進を図るとともに、地域の教育・文化活動の発展に資することを目的とする。

2 具体的な連携方策

- (1) 図書館資料の相互貸借に関する事。
- (2) レファレンスに関する事。
- (3) 各所蔵資料の交換展示に関する事。
- (4) 各館の利用促進につながる取組に関する事。
- (5) 各大学及び市が行う事業の広報に関する事。
- (6) 職員の資質向上のための交流・研修に関する事。
- (7) 市民向け講習会に関する事。
- (8) その他3者が必要と認める事項。

学校や団体等に対する貸出実績（令和2年度）	
幼稚園・保育園（35園）	560冊
小学校（34校）	3,533冊
中学校（4校）	282冊
放課後児童クラブほか教育関係施設（23）	3,032冊
特別支援学校（4校）	510冊
福祉関係施設（17）	3,310冊
高等学校、大学、専門学校等（3）	32冊
市民活動団体・その他（30）	1,311冊